令和4（2022）年度
東京大学大学院人文社会系研究科
博士課程学生募集要項

文学部建築配置図

文学部・研究室案内図は裏面にあります。
### 研究室電話番号一覧

<table>
<thead>
<tr>
<th>コード</th>
<th>専門分野</th>
<th>研究室</th>
<th>電話番号（ダイヤルイン）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>01</td>
<td>言語学</td>
<td>言語学</td>
<td>03-5841-3807</td>
</tr>
<tr>
<td>02</td>
<td>考古学</td>
<td>考古学</td>
<td>03-5841-3793</td>
</tr>
<tr>
<td>04</td>
<td>美術史学</td>
<td>美術史学</td>
<td>03-5841-3800</td>
</tr>
<tr>
<td>05</td>
<td>哲学</td>
<td>哲学</td>
<td>03-5841-3739</td>
</tr>
<tr>
<td>06</td>
<td>機械学</td>
<td>機械学</td>
<td>03-5841-3760</td>
</tr>
<tr>
<td>07</td>
<td>宗教学宗教史学</td>
<td>宗教学宗教史学</td>
<td>03-5841-3765</td>
</tr>
<tr>
<td>08</td>
<td>美学美術学</td>
<td>美学美術学</td>
<td>03-5841-3769</td>
</tr>
<tr>
<td>09</td>
<td>死生学応用倫理学</td>
<td>死生学応用倫理学</td>
<td>03-5841-3736</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>心理学</td>
<td>心理学</td>
<td>03-5841-3861</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>日本語日本文学</td>
<td>日本語日本文学</td>
<td>03-5841-3813</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>日本史学</td>
<td>日本史学</td>
<td>03-5841-3775</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>中国語中国文学</td>
<td>中国語中国文学</td>
<td>03-5841-3823</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>東アジア思想文化</td>
<td>東アジア思想文化</td>
<td>03-5841-3746</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>インド文学・インド哲学・仏教学</td>
<td>インド文学・インド哲学・仏教学</td>
<td>03-5841-3754</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>イスラム学</td>
<td>イスラム学</td>
<td>03-5841-3778</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>アジア史</td>
<td>アジア史</td>
<td>03-5841-3781</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>西洋古典文学</td>
<td>西洋古典文学</td>
<td>03-5841-3855</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>フランス語フランス文学</td>
<td>フランス語フランス文学</td>
<td>03-5841-3842</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>南欧語南欧文学</td>
<td>南欧語南欧文学</td>
<td>03-5841-3851</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>英語英米文学</td>
<td>英語英米文学</td>
<td>03-5841-3830</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>ドイツ語ドイツ文学</td>
<td>ドイツ語ドイツ文学</td>
<td>03-5841-3838</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>スラヴ語スラヴ文学</td>
<td>スラヴ語スラヴ文学</td>
<td>03-5841-3847</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>現代文言論</td>
<td>現代文言論</td>
<td>03-5841-7905</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>西洋史学</td>
<td>西洋史学</td>
<td>03-5841-3789</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>社会学</td>
<td>社会学</td>
<td>03-5841-3877</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>社会心理学</td>
<td>社会心理学</td>
<td>03-5841-3870</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>文化資源学</td>
<td>文化資源学</td>
<td>03-5841-3722</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>文化経営学</td>
<td>文化経営学</td>
<td>03-5841-3877</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>韓国朝鮮歴史文化</td>
<td>韓国朝鮮歴史文化</td>
<td>03-5841-3836</td>
</tr>
<tr>
<td>60</td>
<td>韓国朝鮮言語社会</td>
<td>韓国朝鮮言語社会</td>
<td>03-5841-3636</td>
</tr>
</tbody>
</table>
令和4（2022）年度
東京大学大学院人文社会系研究科
博士課程学生募集要項

教育研究上の目的
本研究科は、人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解を深め、教育研究を実践することにより、高度な教養と思考力、表現力を身につけ、人類文化的発展に寄与する人材を養成することを目的とする。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
本研究科は、思想、歴史、言語、社会にかかわる問題について、独創的な視点から論理性を備えた議論を展開し、それぞれの側面にとらわれない、当面の課題について実証的に独創的な研究を遂行するための高度な専門的知識、柔軟な思考力と幅広い表現力を習得していること。

1. 出願資格
(1) 本学において令和4(2022)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る者（第1号）

(2) 本学において修士の学位又は専門職学位を有する者（第2号）

(3) 本学以外の日本以外の大学において、修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和4(2022)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る者（第3号）(注1)

(4) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者（第4号）

(5) 外国において、修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者（第5号）(注2)

(6) 我が国の大学において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の大学教育制度において就学をした者及び令和4(2022)年3月31日までに当該大学で修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者（第6号）

(7) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位を得た者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者（第7号）

(8) 外国の学校、上記出願資格(6)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に合格する者を含む者及び令和4(2022)年3月31日までに合格する見込みの者（第8号）(注3)

(9) 日本以外の国において大学教育における16年の課程を修了した者で、日本以外の大学に在籍している者及び令和4(2022)年3月31日までに在外学術研究に従事する見込みの者及び令和4(2022)年3月31日までに在外研究に従事する見込みの者（第9号）(注1) (注2) (注3)

(10) 個別の入學資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を得た者及び同上的学力を有する者を含む者及び令和4(2022)年3月31日までに在外学術研究に従事する見込みの者及び令和4(2022)年3月31日までに在外研究に従事する見込みの者（第10号）(注4)

（注1）上記(3)，(9)の「日本以外の国」とは、学校教育法第83条の定める日本国以外の大学を示す。

（注2）上記(6)、(9)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において学習した者及び令和4(2022)年3月31日までに在外学術研究に従事する見込みの者及び令和4(2022)年3月31日までに在外研究に従事する見込みの者を含む。

（注3）上記(8)又は(9)の資格により出願しようとする者は、令和3(2021)年10月20日（水）までに本研究科事務局に申し出て、その旨を申告すること。

（注4）上記(10)に該当する者は、上記(1)から(9)に該当しない者を含む、個別の入學資格審査に該当する者を含む。
より、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者とする。
② 上記(10)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学者資格審査を行うので、令和3(2021)年10月20日(水)までに書類を提出すること。提出書類等については、事前に本研究科事務部に問い合わせること。
③ 入学者資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 選抜方法
(1) 入学者の選択は、第一次選考及び第二次選考による。第二次選考は、第一次選考合格者についてのみ行う。
(2) 第一次選考は、修士の学位等又はこれに代わるもの等の審査及び出願書類の総合的判断を以て行う。
(3) 第二次選考は、各専門分野において、提出書面並びに志望する研究分野についての口述試験を以て行う。
(4) 各専門分野（ただし日本語日本文学及び西洋史学は除く）では、第一次選考ないし第二次選考にあたって、上記のほかに外国語や専門科目について学力試験を行う。試験科目等の詳細は、7〜8頁「受験案内」を参照。

3. 募集人員
本研究科博士課程には、「基礎文化研究」「日本文化研究」「アジア文化研究」「歴史系文化研究」「社会文化研究」「文化資源学研究」「韓国朝鮮文化研究」の7専攻が設けられている。専攻の下にはコースが設けられ、さらにコースの下には専門分野が設けられている。
各専攻の募集人員は、次表のとおりである。
なお、試験の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

※ 文化資源学研究専攻においては、専攻全体で募集人員を6人としており、そのうち約3人を社会人特別選抜により受け入れる。この社会人特別選抜は、文化資源学の分野で大学院における社会人の人材育成に対する社会的要請に応えることを目的として実施するものであり、日本人及び日本語の永住許可を得ている者に限る。ただし、後者は、外国語試験において教育媒介言語を選択できない。
上述の社会人特別選抜に応募しようとする者は、1頁「1. 出願資格」に該当するも、出願年度末までに社会人としての実務経験が2年以上あることを必要とする。
※ 基礎文化研究専攻大学入門学用専門分野は、令和4年度に設置する予定である。
<table>
<thead>
<tr>
<th>専攻名</th>
<th>募集人員</th>
<th>コース名</th>
<th>専門分野名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>基礎文化研究</td>
<td>30人</td>
<td>言語基礎応用</td>
<td>言語学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>形象文化</td>
<td>古学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>思想文化</td>
<td>術史学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>心理学</td>
<td>心理学</td>
</tr>
<tr>
<td>日本文化研究</td>
<td>16人</td>
<td>日本語日本文学</td>
<td>日本語日本文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>日本史学</td>
<td>日本史学</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア文化研究</td>
<td>21人</td>
<td>アジア文化</td>
<td>中国語中国文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>東アジア思想文化</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>インド・インド哲学・仏教学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>イスラム学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>アジア史</td>
</tr>
<tr>
<td>欧米系文化研究</td>
<td>19人</td>
<td>古典古代言語文化</td>
<td>西洋古典学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>ロマンス語圏言語文化</td>
<td>フランス語フランス文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>広域英語圏言語文化</td>
<td>南欧語南欧文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>ゲルマン語圏言語文化</td>
<td>ドイツ語ドイツ文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>スラヴ語圏言語文化</td>
<td>スラヴ語スラヴ文学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>現代文学</td>
<td>現代文学論</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>欧米歴史地理文化</td>
</tr>
<tr>
<td>社会文化研究</td>
<td>10人</td>
<td>社会学</td>
<td>社会学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>社会心理学</td>
<td>社会心理学</td>
</tr>
<tr>
<td>文化資源学研究</td>
<td>6人</td>
<td>文化資源学</td>
<td>文化資源学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>文化経営学</td>
<td>文化経営学</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>韓国朝鮮文化</td>
<td>韓国朝鮮歷史文化</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>韓国朝鮮言語社会</td>
<td>韓国朝鮮言語社会</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 4. 出願手順

(1) 出願の方法

出願は、本研究科事務部に直接申し出ることが、若しくは郵送すること。郵送の場合は、「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院人文社会系研究科出願書類」及び志望する専門分野名（専攻名、コース名ではない）を朱書きのうえ、郵便局で「書留郵便」と指定して下記の宛先に送ること。

〒113-0033  東京都文京区本郷7丁目3番1号  東京大学大学院人文社会系研究科 事務部
TEL. 03-5841-3710, 3712

(2) 出願期間

令和3(2021)年12月1日(水)から12月7日(火)まで。実受け付け時間は、午前10時から午後1時。午後2時から午後4時。ただし、最終日の12月7日(火)は午後3時まで。郵送の場合も、12月7日(火)午後3時までに書留郵便で送ること。
提（3）出席書類等（※印の書類については、本研究料定のものを用いること。補足説明（9 〜 10 頁）を参照すること。）

| ※ 入・進学願書 | 志望する専門分野名（専攻名、コース名ではない）を必ず記入すること。
| | 外国語の試験科目は、予め選択して記入すること。
| ※ 研究計画書 | 入（進）学を許可された場合に取り組みたいと考えている事項について記入すること。
| 修士の学位論文又はこれに代わるもの（3部） | 3部提出すること。
| | 表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。
| | 主論文以外に参考論文等は提出しても差し支えない。
| | なお、外国語で書かれたもの場合、専門分野によっては日本語訳を求める場合がある。
| 論文要旨（3部） | 3部提出すること。
| | 表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。
| | 要旨本文については、日本語の場合は4,000字以内とし、外国語の場合は用紙ごダブルスペースで印字し、10枚以内とする。
| | なお、外国語の場合、専門分野によっては日本語訳を求める場合がある。
| 成績証明書 | 入・進学願書に記載した出身学校において、所要事項が記入されていること。
| | 本研究科修士課程修了見込者は不要。
| 修了（見込）証明書 | 成績証明書に修了（見込）年月日が記入されている場合は不要。
| | 外国の大学院を修了した場合は、取得学位が記載されているもの。
| | 本研究科修士課程修了見込者は不要。
| 写真2葉（同一のもの） | 最近3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱靴のものを、入・進学願書及び受験票に貼ること。
| | 白黒・カラー共に可（縦5cm×横4cm）裏面に氏名を記入すること。
| ※ 送付用シール | 出願者本人の宛名を記入すること。
| | 日本国内の住所を記入すること。
| ※ 返信用封筒 | 出願者本人の宛名を記入し、384円分の切手を貼ること。
| | 日本国内の住所を記入すること。
| 検定料 | 3000円
| | 【銀行振込】又は【コンビニエニスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済（アリペイ・銀聯）での払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。振込は令和3（2021）年11月8日（月）以降にすること。
| | なお、以下の者は検定料を納付しないこと。
| ①本学の修士の学位又は専門職学位を取得の進学予定者。
| ②外国出願者のうち、日本政府（文部科学省）奨学金留学生。
| 検定要項 | 1）【銀行振込の場合】
| | 所定の検定依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振込依頼書（必要書類）を銀行の振込窓口にお持ちのうえ、振込が完了した後、所定の書類を送付すること。
| | 2）本学の修士の学位又は専門職学位を取得の進学予定者。
| | 3）外国出願者のうち、日本政府（文部科学省）奨学金留学生。
5. 第一次選考合格者の発表
第一次選考合格者は、令和4(2022)年2月3日（木）午前10時前に、本研究科掲示場に受験番号を掲示する。なお、電話等による問い合わせに一切応じない。

6. 第二次選考の試験期日
令和4(2022)年2月10日（木）
試験の時間別及び試験場については、第一次選考合格者の発表と同時に、本研究科掲示場に掲示する。
※現代文芸論専門分野、文化資源学研究専攻及び韓国朝鲜文化研究専攻については、2月9日（水）に行う。

7. 第二次選考合格者の発表及び入学手続き
(1) 発表方法
第二次選考に合格し、入学許可を内定した者は、令和4(2022)年2月17日（木）午後1時30分に、本研究科掲示場に受験番号を掲示する。なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

(2) 入学許可通知
令和4(2022)年3月上旬に入学許可書を本人宛に送付する。

(3) 入学手続き
入学許可の通知を受けた者は、令和4(2022)年3月7日（月）から令和4(2022)年3月10日（木）の間（予定）に、必要な入学手続き（入学料の納付及び入学手続き書類の提出）を行うこと。所定の期間内に入学手続きを行わない場合には、入学しないものとして取り扱う。
(4) 入学時に必要な経費（令和4（2022）年度予定額）

① 入学料 282,000 円 （予定額）（日本政府（文部科学省）奨学金受給学生及び本学の修士の学位又は専門職学位を取得の見込みの進学予定者に対しては徴収しない。）
② 授業料 前期分 260,400 円（年額 520,800 円） （予定額）（日本政府（文部科学省）奨学金受給学生に対しては徴収しない。）

上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たに納付金額が適用される。

8. 注意事項

（1）同一年度に、本研究科の二つ以上の専門分野に出願することはできない。

（2）提出期日までに所定の書類が完備しない入・進学願書は受理しない。また、出願手続後、どのような事情があっても、内容の変更は認めず、また、書類の返却はしない。

（3）」「受験票」等は、12月下旬、直接本人に郵送する。令和4（2022）年1月6日（木）までに到着しない場合は、本研究科事務部に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

（4）官庁、企業、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続の際に、在学期間中専務に専念させる旨の勤務先の長の承諾書（様式任意）を提出すること。

（5）障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は令和3（2021）年10月20日（木）までに本研究科事務部に申し出ること。

（6）外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

（7）出願手続後は、どのような事情があっても、検定料の払い戻しはしない。

（8）入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。

（9）出願書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遅って入学を取り消すことがある。

（10）出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、② 合格発表、③ 入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ① 教務関係（学籍、修学等）、② 学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請、図書館の利用等）、③ 授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

（11）入学選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

（12）東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び技術の輸出の観点に立つ外国および外国人に輸出される技術の提供及び技術の輸出の観点から外国人に提供される技術の提供及び技術の輸出の観点から日本に輸出される技術の関係において規制を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できる場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ホームページを参照すること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html

令和3（2021）年 7月
東京大学大学院人文社會系研究科 博士課程 入・進学試験「受験案内」

1. 第一次選考
   
   日 時：令和4(2022)年1月22日（土）
   ⭐【外語】 2ヶ国語 09:30～11:30
   1ヶ国語 10:30～11:30
   ⭐【専門試験】 13:30～16:00

   場 所：詳細については、受験票とともに郵送する。

2. 第二次選考
   
   日 時：令和4(2022)年2月10日（木）
   ※死生学応用倫理専門分野、現代文芸専門分野、文化資源学専門分野及び韓国朝鮮文化研究専攻については、
   2月9日（水）に実施する。

   場 所：第一次選考合格者の発表以降、試験の時間及び試験場について、本研究科案内に掲載する。

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>第一次選考</th>
<th>第二次選考</th>
<th>外国語・専門試験等について</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>笔記試験</td>
<td>笔記試験</td>
<td>口述試験</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>外国語</td>
<td>専門</td>
<td>外国語</td>
</tr>
<tr>
<td>言語学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>考古学</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
</tr>
<tr>
<td>美術史学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>哲学</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
</tr>
<tr>
<td>僧侶学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>宗教学宗教史学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>美術芸術学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>死生学応用倫理</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>日本語日本文学</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
</tr>
<tr>
<td>日本史学</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
</tr>
<tr>
<td>中国語中国文学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>東アジア思想文化</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>実施</td>
</tr>
</tbody>
</table>

日本語 2（英・独・仏）

外語2（日必須、及び英・独・仏から母語（※）を除く1）

日本語 1（英必修）

外語2（日・英）

日本語2（英・独・仏・伊・中・西）

外語2（日必須、及び英・独・仏・伊・中・西から母語を除く1）

2（日・英・独・仏から母語を除く2）

日本語 2（英・独・仏）

外語2（日必須、及び英・独・仏から母語を除く1）

日本語 2（英）

外語2（日・英）

日本語2（英・独・仏）

外語2（日必須、及び英・独・仏から母語を除く1）

日本語 2（英）

外語2（日・英）

日本語 2（英・独・仏）

外語2（日必須、及び英・独・仏から母語を除く1）

日本語 2（英）

外語2（日・英）

日本語 2（英・独・仏）

外語2（日必須、及び英・独・仏から母語を除く1）

日本語 2（英）

外語2（日・英）
<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>第一次選考</th>
<th>第二次選考</th>
<th>外国語・専門試験等について</th>
<th>注意事項</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インド文学・インド哲学・仏教学</td>
<td>実施</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>イスラム学</td>
<td></td>
<td>実施</td>
<td>日本人 2（英必須、及び英・仏・中から1）</td>
<td>本研究科専門分野修士課程修了者及び修了見込者の者を除く。</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア史</td>
<td></td>
<td>実施</td>
<td>外国人 2（日必須、及び英・仏・中から母語を除く1）</td>
<td>本研究科専門分野修士課程修了者及び修了見込者の者を除く。</td>
</tr>
<tr>
<td>西洋古典学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td>外国人 2（英・仏）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>クラシクス文学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td>外国人 2（英・仏・露・伊・西から1）</td>
<td>専門試験は外国人も日本語回行に。</td>
</tr>
<tr>
<td>南欧文学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>英語英米文学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td>外国人 2（日必須、及び英・仏・露・伊・西から1）</td>
<td>専門試験は外国人も日本語回行に。</td>
</tr>
<tr>
<td>ドイツドイツ文学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ギリシア文学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td>日本人 2（英・仏・露・伊・西）</td>
<td>第一次選考専門団体修士修了者及び修了見込者の者を除く。外国人も日本語回行に。</td>
</tr>
<tr>
<td>現代文芸論</td>
<td></td>
<td>外国人 2（日必須、及び英・仏・露・伊・西から母語を除く1）</td>
<td>第二次進向専門団体修士課程修了者及び修了見込者の者を除く。専門試験は外国人も日本語回行に。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>西洋史学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>社会学</td>
<td></td>
<td>実施</td>
<td>日本人 2（英・仏・露・伊・西）</td>
<td>適用試験は、専門団体修士課程修了者及び修了見込者の者を除く。専門試験は外国人も日本語回行に。</td>
</tr>
<tr>
<td>社会心理学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td>外国人 2（日・英）</td>
<td>適用試験は、専門団体修士課程修了者及び修了見込者の者を除く。専門試験は外国人も日本語回行に。</td>
</tr>
<tr>
<td>文化史学研究</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>社会学</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>韓国現代文化研究</td>
<td>実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

説明 外国語試験科目の表記について

外国語試験科目に、例えば「2（英・独・仏・露・伊・中・韓）」とあるのは、英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・韓国語のうち、2ヶ国語を選択しなくてはならないことを示す。また、「2（中必須、及び英・独・仏から1）」とは、中 国語が必須であり、加えて英語・ドイツ語・フランス語のうち、1ヶ国語を選択しなくてはならないことを示す。

注意 外国人受験者の注意事項

日本の大学を卒業した者は、日本人と同じ条件で外国語試験を受験しなくてはならない。「日本語能力試験書」を提出する必要はない。
東京大学大学院人文社会系研究科博士課程学生募集要項補足説明

以下は、令和4(2022)年度の人文社会系研究科博士課程学生募集要項を補足するものである。
出願にあたり、必ず参照すること。

１．修士の学位論文又はこれに代わるものの提出について
(1) 「修士の学位論文又はこれに代わるもの」（以下「論文」という。）は、その内容が志望専門分野に関係するものであること。修士の学位論文が志望専門分野に関わりない内容の場合は、志望専門分野に関する「それに代わる論文」を提出すること。
（※）本学大学院人文社会系研究科修士課程修士見込みの者は、修士の学位申請論文を提出すれば、あらかじめ入学試験の審査用として提出する必要はない。ただし、出身の専門分野と志望する専門分野が異なる場合、「それに代わる論文」の提出を求めることがあるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。

(2) 論文が、本学に提出する時点で未完成であったり、まだ最終審査を経ていない場合であっても、なるべく論文として完結した形のものを適宜作成して、入学試験の審査用として提出すること。

(3) 御来系文化研究専攻英語英米文学専門分野志願者の提出論文及び論文要旨は、英語で書かれたものに限る。

(4) 外国語の論文を認めない専門分野や、外国語の論文の日本語訳の提出を求める専門分野もあるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。

(5) 作成にあたっては、散逸することがないよう1部ずつ製本若しくはファイルし（ホッチキス止め、クリップ止め不可）、表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。

(6) 同一の論文を3部提出すること。コピーしたものでも差し支えない。

(7) 不明な点があれば、あらかじめ志望する専門分野の研究室に相談しておくこと。

２．論文要旨の提出について
(1) 表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。

(2) 論文要旨が外国文の場合は、日本語訳の提出を求めることができるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。

３．成績証明書及び修了（見込）証明書の提出について
(1) 外国の大学院を修了した場合は、いずれかの証明書に取得学位名が記載されているものを提出すること。

(2) 証明書は原本（纸媒体）を提出すること。まれに発行元の都合で、証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違ないことを証明の上、提出すること。

４．返信用封筒の提出について
出願資格にかかわらず全員提出すること。
5. 外国人出願者への注意
(1) 出願時において、日本政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生については、その在籍大学から発行された「国費留学生証明書」を提出すること。この証明がない場合は、検定料を納付しなければならない。（※）東京大学に在籍している者は、提出の必要はない。

(2) 本研究科に在籍中の外国人研究者は、成績証明書・修了証明書及び「日本語能力証明書」を提出する必要はない。

6. その他の注意事項
(1) 検定料は必ず【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済（アリペイ・銀聯）での払込】とし、金額は30,000円であること。過不足のある場合は、入・進学願書を受理しない。
なお、以下の者は検定料を納付しないこと。
①本学の修士の学位又は専門職学位を得る見込みの進学予定者
②外国人出願者のうち、日本政府（文部科学省）奨学金留学生。ただし、本学に在籍中（研究者を含む）の者以外は、在籍大学から発行された「国費留学生証明書」を提出すること。

(2) 出願書類が完備しない入・進学願書は、出願期間内に提出されたものであっても受理しない。
また、出願書類以外のものは、受理しない。

(3) 各専門分野の研究・教育内容については東京大学文学部・大学院人文社会系研究科ホームページ（http://www.l.u-tokyo.ac.jp/）等で確認のこと。

(4) 平成 26 (2014) 年度以降の過去問題の入手については、文学部複写センター（日本興業社）（文2号館2階 TEL 03-3814-9301）に、直接問い合わせること。
「入・進学願書」「研究計画書」及び「博士課程入・進学試験電算登録用紙」作成上の注意

1. 入・進学願書の記入について
(1) 入・進学願書の記入にあたっては、黒ボールペンを使用すること。消せるボールペンは使用しないこと。
(2) 「フリガナ」欄は、カタカナで記入すること。
(3) 「氏名」欄は、漢字又はアルファベットで記入すること。アルファベットは、ブロック体で丁寧に記入すること。
(4) 「写真貼付欄」に貼付する写真と受験票に貼付する写真は、同一のものを使用すること。(正面・上半身・無帽子・無背景で最近3ヵ月以内に撮影のもの)
(5) 「本人住所」欄は、本研究科から電話、E-mail 又は郵便等で連絡のできる場所を記入すること。
(6) 「受験外国語」欄は、受験外国語が１ヶ国語のみの専門分野を志望する場合は、一方の欄に記入し、もう一方の欄は空欄とすること。
(7) 「履歴事項」欄は、高等学校卒業より、空白期間のないように記入すること。また、職歴がある場合にも同様に記入すること。外国籍の場合は小学校より記入し、以下は日本人同様とする。
最後に「現在に至る」と記入すること。
(8) 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し、訂正すること。

2. 「研究計画書」の提出について
(1) 研究計画書の記入にあたっては、黒ボールペンを使用すること。消せるボールペンは使用しないこと。(ワープロ等で作成したものの中切貼り可)
(2) 入（進）学を許可された場合に取り組みたいと考えている事項について記入すること。

3. 博士課程入・進学試験電算登録用紙の記入について
(1) この用紙は直接機械で読み取るので、汚したり折り曲げたりしないこと。記入にあたっては、H B 又は B の鉛筆で入・進学願書と相違ないよう丁寧に記入すること（ボールペン等不可）。
特に、数字は判別できるよう、記入例に従い明確に記入すること。
(2) 「志望専門分野」欄は、表紙裏の研究室電話番号一覧のコード欄に従い、該当する番号を記入すること（0は省略しない）。
また、本研究科修士課程修了及び修了見込者のみ、在籍専門分野の番号を記入すること（0は省略しない）。言語動態学は「02」、東アジア歴史社会学は「22」、南アジア・東南アジア歴史社会学は「25」、西アジア歴史社会学は「27」、形態資料学は「52」、文書学は「53」、文献学は「54」、韓国朝鮮文化史学会「56」、韓国朝鮮音楽思想是「57」、北東アジア文化交流は「58」。
(3) 「生年月日」欄は、西暦で記入すること。月・日が１桁の場合は、頭に「0」をつけること。
(4) 「性別」「国籍」「出身大学院」「大学院在籍の有無」「研究所在籍の有無」「就職について」欄は、それぞれ該当する番号を記入すること。該当番号が１桁の場合は、頭に「0」をつけること。
(5) 「学生証番号」欄は、本学の修了者、修了見込者及び研究生（外国人含む）のみ記入すること。
(6) 「受験外国語」欄は、１ヶ国語受験の専門分野出願者、２ヶ国語受験の専門分野出願者はそれぞれ該当箇所に番号を記入すること。
また、アジア史専門分野出願者は、外国語名を記入すること。
なお、外国語試験が免除されている者は、記入しないこと。
(7) 「出願者名」欄は、１頁「1」、出願資格第１号～第 10 号」のうち該当する番号を記入すること。
該当番号が１桁の場合は、頭に「0」をつけること。
東京大学大学院 人文社会系研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

2 お支払い

セブンイレブン
払込手数料（1,500円）

ファミリーマート
払込手数料（1,500円）

ローソン・ミニストップ
払込手数料（1,500円）

ペイジー対応ATM
受付窓口・携帯電話

ペイジー対応ネットバンク
受付窓口・携帯電話

ネット専用銀行
受付窓口

3 出願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】
支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された（受付番号）と
【生年月日】を入力し、「収納証明書」を印刷。

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】
入学検定料・選考料 取扱説明書」の「収納証明書」部分を切り取り、所定の貼付台紙に貼る。

注意事項

- 出願期限を入試要項等でご確認のうえ、締切に従いご送付願います。
- 料金が支払いに応じた場合、料金は後払いとなります。
- 議定料未払の場合、コンビニ受領では受け付けできません。詳しくはWebサイトを確認ください。
- 一度お支払いされて検定料はお受けできません。検定料の払い戻しについては、Webサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- お取扱いにご注意ください。

■お支払い期間

修士課程（夏学期入） 令和3年6月7日（月） - 6月21日（月）
修士課程（冬学期入） 令和3年10月11日（月） - 10月25日（月）
博士課程 令和3年11月8日（月） - 12月7日（火）
You can pay the Examination Fee by using Credit Card, Union Pay, and Alipay.

Access
https://e-shiharai.net/english/

1. Top Page
   Click "Examination Fee".

2. Terms of Use and Personal Information Management
   Please read the Terms of use and Personal Information Management.
   Click "Agree" button located in lower part of this page if you agree with these terms.
   Click "Not agree" button located in lower part of this page if you do not agree with these terms.

3. School Selection
   Select "The University of Tokyo (Graduate Schools)" or "The University of Tokyo (Graduate Schools) (China payment only)"

4. School Information
   Read the information carefully and click "Next".

5. Category Selection
   Choose first to fourth selection and add to basket.

6. Basket Contents
   Check the contents and if it is OK, click "Next".

7. Basic Information
   Input the applicant's basic information.
   Choose your credit card and click "Next".

Paying by Credit Card
Input Credit Card Number (15 or 16-digits), Security Code and Expiration Date.

All of your application information is displayed. Check and click "Confirm".

Click the "Print This Page" button and print out the "Result" page.

Paying by Union Pay, or Alipay
All of your application information is displayed. Check and click "Confirm".

Follow the onscreen instructions to complete the card payment.
Please write down the "Receipt Number" given when you complete your application.

Please click the "Application Results" button in the upper part of this site (e-shiharai.net).
Input enter your "Payment Method", "Receipt Number" and "Birth Date".
Please make sure your printer is ready.
Please print out the "Payment Inquiry - Inquiry result" page.

Enclose the printed "Result" page in an application envelope with other necessary application documents.

Necessary application documents

Mail it from Post office

POST OFFICE

NOTICE/FAQ

- During payment periods and application periods mentioned in the application documents, you can make a payment anytime.
  Please confirm from application documents and complete payment in time for the application period.
- On the last date of the payment period, please finish card settlement procedure by 11:00pm Japan time.
- A fee is added to Examination fee. For further info, please visit our website.
- Please note that refund is not possible once you have made a payment of Entrance examination fee.

- It is possible to use a card which carries a name different from that of the applicant. However, please make sure that the information on the basic information page is the applicant's information.
- If you did not print out "Result" page, you can check it later on Application Result page. Please enter "Receipt Number" and "Birth Date" to redisplay.
- Please directly contact the credit card company if your card is not accepted.

For questions or problems not mentioned here, please contact:
E-Service Support Center   Tel : +81-3-5952-9052 (24 hours everyday)